

一液水性架橋型 エポキシ変性カチオン系プライマー

厚生労働省指針 13 物質

F ★★★★★

文部科学省基準 6 物質

非配合

フローンNSプライマー

フローンNSプライマーは、フローンヌルサット専用下塗り材で、1液エポキシ変性カチオン系樹脂を主成分とした、水系の下塗り材です。

特長

1. コンクリート・モルタル面に対し、優れた密着性を発揮します。
2. 既存塗膜に対して優れた密着性を発揮します。
3. 水希釈の必要が無く、原液のままハケ、ローラー施工が可能です。
4. カラークリヤーの為、塗装した範囲が判別できます。

用途

フローンヌルサット施工時の、

1. コンクリート・モルタル用下塗り材
2. 劣化が著しい既存塗膜面上塗り施工時の下塗り材

※既存塗膜への密着性（劣化した既存塗膜面塗装の際）

- 水系アクリル樹脂塗料
- 溶剤系アクリル塗料
- エポキシ樹脂塗料
- ウレタン樹脂塗料
- アクリルウレタン樹脂塗料

※ 既存塗膜は必ず目荒しを行って下さい。ウレタン防水材など軟質ウレタン塗膜への使用はワレの原因となりますので避けて下さい。

※ 色がついた下塗り材の為、フローンヌルサットクリヤー艶有、艶消にはご使用できません。

容量・荷姿・塗装面積

容量	色相	標準塗装面積
15kg(石油缶入り)	グリーン系	0.15kg/m ² 100m ² /1回塗り(コンクリート面)
4kg(ポリ缶入り)	カラークリヤー	0.15kg/m ² 26m ² /1回塗り(コンクリート面)

乾燥時間

温度	10℃	23℃	30℃
上塗り可能時間	6時間以上	2時間以上	1時間以上

標準施工仕様

フローンヌルサットコーティング工法（コンクリート・モルタル面）

工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23℃)	備考
1	素地調整	----	-----	※施工上の注意事項をご参照下さい。
2	フローンNSプライマー	0.15	2～48時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
3	フローンヌルサット 水道水	0.15 0.006	2～48時間	A液：B液＝10：1（重量比）の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
4	フローンヌルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 ：2時間以上 重作業可能時間 ：8時間以上	

※吸い込みが激しい場合は、再度フローンNSプライマーを塗布して下さい。

注意事項

- 下地の砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に除去し、下地との付着を高めるため、事前にポリッシャー・サンダー・研削機にて下地調整を必ず行って下さい。また、新設コンクリート、モルタル面の表面には、レイタンス（遊離アルカリ）による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ず、ワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。また、刷毛引き仕上げコンクリート面に施工する際は、当社までお問合せ下さい。強度が低いモルタル・セメント系下地調整材は、破壊される事により剥離する場合がありますので使用しないで下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ・硬化不良を、またアルカリの影響により、密着不良を招く場合があります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-520・HI-520-2で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- コンクリート・モルタルに発生した亀裂は、Uカットしてフローンエポパテ等にて充填し亀裂面が平滑になるように研磨して下さい。
- カチオン系ですので他の塗料との混合は出来ません。
- 中毛ローラー、ハケなどの施工道具は、他の塗料との共用を避け、使用後は十分に水洗いを行って下さい。
- 他の容器に移す場合は、プラスチック容器を使用して下さい。金属容器を使用すると錆が発生する可能性があります。
- 金属部への塗装は行わないで下さい。また、被塗物のまわりに金属部位がある場合は、塗料が付着しないように養生を行って下さい。
- 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし、触れた場合は、ウェス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- フローンNSプライマーは、水を希釈剤としている為、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがある為、凍結させないように保管して下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき十分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行って下さい。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼす恐れがありますので、廃水処理場などの施設に持ち込むか、産廃処理業者に処理を依頼して下さい。

※ アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。
（呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。）
容器に表示されている注意事項をご参照の上、安全に施工して下さい。
詳細な内容が必要な場合には、安全データシート（SDS）をご参照下さい。
SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし各種SDS一覧をご参照下さい。

●お問い合わせは.....



東日本塗料株式会社

本社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3丁目25番18号 TEL. 03(3693)0851(代) FAX. 03(3697)2306
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1丁目13番地 TEL. 0480(65)1515(代) FAX. 0480(65)1518
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1丁目4番20号 TEL. 022(291)7372(代) FAX. 022(291)7320
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3丁目7番9号 TEL. 025(273)5749(代) FAX. 025(274)6730
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128番地-1 TEL. 054(238)8061(代) FAX. 054(238)8063

* 製品改良のため予告なく、仕様、性能を変更する場合がございます。
本書に収録したものの一部または全部の無断複製、転載を禁じます。